

講義内容

教育哲学研究 I

Pedagogical Philosophy I 2単位

生命体として生まれた「ヒトの子」が「人間になる」とはどういうことか。1970年代から現代にいたるドイツの教育人間学の潮流を概観しながら、人間生成の基本問題を解説する。「一人前」の大人のモデルがますます拡散する現代社会において、「子ども」が「大人になること」の難しさを説明し、子どもの自己形成とその危機に関わる問題を、経験、他者、関係性、アイデンティティ、ミメーシス（模倣）などの人間学的諸概念を手がかりにして、構造的に明らかにする作業を行う。映像や画像を活用しながら、イメージ豊かな授業を行う。

教育哲学研究 II

Pedagogical Philosophy II 2単位

西洋と日本の近代教育思想の成り立ちや構造を知る事によって、教育的なものの方の特質を知る。講義は以下の三領域からなる。(1) 近代教育思想の成立と構造 (2) 近代日本の教育学と教育思想 (3) お雇い外国人の見た近代日本の文化と教育

西洋教育史研究 I

History of European Education I 2単位

ドイツの教育思想史とりわけ、シュタイナーを中心としながら、田園教育舎系の教育思想と比較検討する。

西洋教育史研究 II

History of European Education II 2単位

本講義では、ドイツ、チュービンゲン大学教授であり、玉川大学名誉教授でもあったオットー・F.ボルノーの教育思想について見ていく。本年度は、“Anthropologische Paedagogik (人間学的教育学)” の第4章、“Die paedagogische Atmosphaere (教育的雰囲気)” を読み、「幼児の庇護」、「子どもの楽しい気分」、「教育者の愛と信頼」の問題等について、一緒に考えていきたい。

日本教育史研究 I

History of Japanese Education I 2単位

明治初期の啓蒙主義教育思想を検討する。

日本教育史研究 II

History of Japanese Education II 2単位

明治初期の啓蒙主義教育思想を検討する。

教育心理学研究 I

Educational Psychology I 2単位

最近の教育心理学の研究成果をもとに、成長・発達概念、認識能力の発達、学習や理解のメカニズム、知識を規定する認知的・文化的な諸要因、教育臨床等について説明することができるようになることを目的とする。また、教授・学習活動を推進する要因や教育活動を妨げる諸問題について仮説検証できるようになることを目指す。

教育心理学研究Ⅱ

Educational Psychology II 2単位

児童・生徒の教育活動を支援する上でアセスメントは必須となることを踏まえ、アセスメントの方法（心理検査法、面接法、観察法、事例研究法等）を習得するとともに、自ら質問紙調査により、児童生徒の心理分析・行動評価を実施できる心理測定尺度を作成できるようになることを目的とする。

教育方法・技術研究Ⅰ

Method and Technology of Education I 2単位

教育方法・技術研究Ⅱ

Method and Technology of Education II 2単位

このコースでは、教育方法研究の方法論をⅠ、Ⅱを通して学ぶためのものである。教育方法は、単に子どもを前にした教え方の技能ではなく、教科内容に関する構造的な理解、学習者についての知識、そして、授業のデザインの技術からなるものである。これは、子どもにそって教える、という「メトード」を具体化するものにほかならない。本コースでは、認知的なアプローチを中心として、教材研究、子どものつまづき、ディスレクシアの理解などを扱う。

比較教育学研究Ⅰ

Comparative Education I 2単位

諸外国との比較を通して、日本の教育の特色を理解する。上記の関心から、あらためて「教育的視点」を確認し、教材とは何か、理解とは何かを問い直す。

比較教育学研究Ⅱ

Comparative Education II 2単位

1980年代以降の教育改革を中心に、諸外国の教育政策の特性を検討する。

幼児教育思想研究

Philosophies of Nursery Education 2単位

本授業では、前半部分で西洋近代幼児教育思想の流れ（コメニウス、ロック、ルソー、ペスタロッチー、オウエン、フレーベル、モンテッソーリ等）を概観し、しかる後、世界で最初に「幼稚園」（Kindergarten）を創立したフレーベルに焦点を当て、彼がどのような子ども観、幼児教育観、遊び観を有していたのかを詳しく見ていくことにしたい。

幼児教育指導論

Instructional Theory for Early Childhood Education 2単位

幼児教育の考え方の概要を講義し、受講生の関心に応じて、討議を加えたい。

現在の乳幼児保育・幼児教育の動向について学ぶようにするとともに、幼稚園教育要領・保育所保育指針の理念とそれを実践に映す際の原則を理解する。

幼児音楽研究

Music for Early Childhood 2単位

教育の根幹となる乳幼児期における音楽教育のあり方をさぐる。現在、『表現』という分野に統合されているが、この授業では音楽表現を中心に据え、実技を通して、自分の力で表現力を高めることを学ぶ。

幼児造形研究

Crafts for Early Childhood

2単位

アートやデザインは自己と他己、異なった価値観をもった集団、異なる領域などをつなぐ媒体として、社会における新たな役割を担おうとしている。この変化に伴い、造形による教育も新たな役割や手法が求められている。また、デジタル技術の発展に伴う生活環境の変化は、デジタルを操作する人間の基盤的能力としてのアナログ感覚の重要性をますます高めている。本講では、幼児の生活環境の変化を踏まえ、造形による教育の視座からアナログ感覚の基盤を形成する幼児の造形表現活動と、義務教育および後の教育の基礎を培う造形表現教育について考察する。さらに、考察を踏まえた造形教育教材の開発、造形教材の運用や指導などについて研究する。講義やディスカッションと併せて造形教材を実際に制作することを含む。

児童福祉研究

Child Welfare

2単位

児童福祉の理念や制度は、家庭教育、学校教育と極めて密接な関連性をもっている。また、近年のわが国の児童福祉制度は、少子社会への変化、子どもを取り巻く環境の変化等に伴い、大きな変革期にある。履修者のこれまでの児童福祉および関連領域・分野の学修内容を踏まえて、前半はわが国の児童福祉制度を概観し、後半は履修者の関心のあるテーマを中心に展開する。

精神保健研究

Study on Mental Health

2単位

豊かになった現代社会において、心の健康状態は必ずしも十分に保障されているとは言い難い。また、人間の心の状態は体の健康にも大きく影響を及ぼし、特に子どもにおいては、心身相関が顕著である。本講では、子どもの精神保健に焦点を

あて、家庭・保育現場・学校・社会などにおけるさまざまな心理的・精神医学的問題をとりあげて考察することとしたい。

小学校授業研究

Curriculum and Instruction in Elementary Schools 2単位

授業における学習目標は、一般的に知識や技能の獲得、意欲や態度の形成などである。なかでも、知識は、ほとんどの教科の主要な学習内容である。ところが、知識の学習は詰め込みととらえられ、授業における知識の学習が軽視される一方で、考える力や学習意欲、態度の形成が重視されるようになってきている。しかし、知識と技能、知識と思考、知識と意欲・態度は相互に関連したものであり、一方だけの獲得は考えられない。そこで、教科学習の基本である知識の豊かな学習がどのようなものであるかを理解して、知識と思考、知識と意欲・態度の形成を促す授業の方法に応用できるようにする。取り上げる教科は、自然をフィールドとして知識を得る理科と、文学などの文章から知識を得る国語である。

小学校教育課程研究

Curriculum Studies for Elementary School 2単位

- ①教育改革と学習指導要領の変遷を講義する
- ②教育課程の基礎知識を教授し、教育課程編成の事例分析などを行う
- ③新学習指導要領への移行期間の課題について、実践的に考察をする

情報教育研究

ICT in Education

2単位

情報教育とは、IT(Information Technology)を利活用した教育、学習である。

ITの普及に伴い、さまざまな教授システムや学習システムが開発され、ITを利活用した実践が行われてきた。それらの多くは学習理論の影響を

受けている。

本講義では、教授システムや学習システム、およびIT利・活用の変遷を概観し、それらの背景にある学習理論と関連づけてITが果たす役割を理解することを目的とする。

なお、本講義では、受講者による発表・討論を中心に行うので、積極的な参加を望む。

カウンセリング研究

Counseling Theory and Practice for Children 2単位

連日マスメディアを通じて、何か子供にまつわるニュースが伝えられている。それは、日本社会の在り方、学校の在り方、家族の在り方、両親、子供同士の人間関係などが絡み合って出現した現象ともいえる。カウンセリングを基礎とした視点から、それらをどのように扱っていけばよいのかを学習する。具体的な事例をあげながら、子供の視点、両親の視点、教師の視点、臨床心理士の視点など、視点の違いから説明し、単に教科書的に当てはめるのではなく、その場で自らが考えるという力も養っていきたいと思う。さらに、実際にカウンセリングの基礎を身につけ、実践できるようになることが目的である。また、内省することを学び、自分自身についての理解を深めることも同時に行う。

特別支援教育研究

Special Needs Education 2単位

現在の学校教育の大きな課題の一つである特別支援教育について、その対象となる高機能広汎性発達障害児やLD児、ADHD児等を含めた指導の難しい児童生徒の理解ならびに指導の方法、さらにはそうした児童生徒の在籍する学級、学校の運営について、主として自閉症の障害特性などから考えていきたい。

授業技術の研究と実践

Study and Practice of Instructional Method 2単位

本授業では、教師の授業力の本質を解明し、授業力を向上させるための努力の方向を明らかにして、教室での授業が大きく変化することを目的としている。

すぐれた教師は、すぐれた医療技術と患者への適切な対応力を身に付けている。すぐれた教師はすぐれた教育技術と子どもへの適切な対応力を身に付けている。講義、演習、すぐれた授業者の実演等によって学んでいく。

学校教育研究

School Issues : Reality and Reform 2単位

「学士課程教育の構築」(平成20年12月)を受けて、大学教育を学士課程と大学院とを明確に機能分化するようになった。学士課程では教育を、そして大学院で研究を明確に区分けする方向で動き出してきた。大学ユニバーサル化は世界の動きであり、日本も例外ではない。それが中等教育さらには初等教育へ及ぼす影響も考えていく。さらに高等学校無償化が中等教育と大学進学へ及ぼす影響も考えていく。

全人教育研究

Study on Zenjin Education 2単位

全人教育とは何なのかを、西洋と日本の教育史の流れの中で見ていくことにしたい。しかる後、本学の創立者である小原國芳の全人教育の特徴はどこにあるのかを、具体的に探っていくことにしたい。

経営基礎論

Fundamentals of School Management 2単位

企業組織において継続的・計画的にその事業を遂行し、経済的活動を運営するために、様々な方法論が提案されている。これらの方法論の基本

的な考え方を教育機関に適用することは可能であり、教育機関における経営論の基礎を講義と議論によって理解する。

脳科学と教育

Brain Science and Education 2単位

教育は高度に心理的な技能である。しかし一方で脳科学の視点からの情動的解釈では、脳における高度の学習過程を誘導する、高度のインタラクションとも言える。心理的な世界と脳の世界のあいだにはまだ溝があるが、最近の脳関連の諸科学はそれを埋める大きな進歩を遂げている。その成果は、多様な学習の場面での特性と、その障害により発生する現象の深い理解につながりつつある。本講義は、教育と学習にかかわる最新の脳科学の知見を紹介し、実際の教育現場における方法につなぐ努力について議論する。

脳科学と社会

Brain Science and Society 2単位

ここ数十年で脳科学は目覚ましい発展を遂げ、ヒトの脳のはたらきを直接に研究することができるようになってきた。その結果、脳科学は、生物としてのヒトの行動だけでなく、社会に生きる人間の心をも解明しようとしている。たとえば私たちの意思決定は、他者を意識することにより、大きく左右される。本講義は、このような社会的場面特有の脳のはたらきに注目し、非社会的場面における脳のはたらきとどう異なり、我々の日常生活でどのように現れているのかという点について理解を深める。

教育学特殊研究 A

Advanced Topics in Education A 2単位

道德教育の研究。日本の道德教育の歴史、現状、課題について考察し、これからの道德教育の在り方について考察しあいたい。その考察の手がかり

として、稲富栄次郎博士（1897-1975）の道德教育論の文献を読みあう。

博士には、道德教育に関する三部作『道德教育論』『人間形成と道德教育』『日本の道德教育』がある。これらはいずれも、深い学理に基づいて実際のあり方まで示す貴重かつ重要な論稿である。講義ではこれらの中からさらに多くの示唆を与え得る論稿を読みあい、今後の日本の道德教育の理論と実践を追究したい。

教育学特殊研究 B

Advanced Topics in Education B 2単位

教育学特殊研究 C

Advanced Topics in Education C 2単位

発達障害の特性を最新の脳科学、ICF、ストレスケアの視点から理解を深める。当事者や親、実践家からすぐに活用可能な効果的支援法を学ぶ。

教育学特別演習 I

Seminar for Master Degree I 2単位

教育学特別演習 II

Seminar for Master Degree II 2単位

教育学特別演習 III

Seminar for Master Degree III 2単位

教育学演習は全体として、修士論文を書くための基礎となる方法論を学び、また、それに関連する文献を検討することによって、論文を書く力をつけることを目的としている。そのために、受講者は修論指導担当の演習を選択し、各学期の当初に担当とともにコースの進め方を打ち合わせ、研究計画にもとづきながら文献などを選択する。